

【技術の名称】 PSMIX構法 －梁貫通型柱RC梁S接合部構法－（改定2）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第09-26号 改2 性能証明発効日：2017年2月28日 【取得者】 株式会社ピーエス三菱
--	---

【技術の概要】

本技術は、柱を鉄筋コンクリート（RC）造、梁を鉄骨（S）造とし、XY両方向の鉄骨（H形鋼）梁を貫通させ、支圧板、帯筋またはふさぎ板を用いて柱RC梁S接合部を構築する構法である。本構法では、必要に応じて支圧板を鉄骨梁フランジ上下に延長し、柱頭・柱脚のコンクリートを拘束し、鉄骨梁のてこ作用に抵抗するコンクリートの支圧耐力を増大させ、設計で要求される柱RC梁S接合部の強度を確保することになっている。

【改定の内容】

新 規：GBRC 性能証明 第09-26号（2010年1月12日）
改定1：GBRC 性能証明 第09-26号 改（2011年9月26日）

- ・L字形柱梁接合部に帯筋形式を追加
- ・T字形およびL字形柱梁接合部のふさぎ板形式の場合の柱主筋定着長さの変更
- ・ト字形およびL字形柱梁接合部の梁鉄骨の突出ディテールの変更

改定2：GBRC 性能証明 第09-26号 改2（2017年2月28日）

- ・ブレース付き架構への本構法の適用を追加
- ・設計規定の変更（せん断設計用形状係数、支圧有効幅、短期耐力式）
- ・設計規定の追加（段差梁、梁偏心）

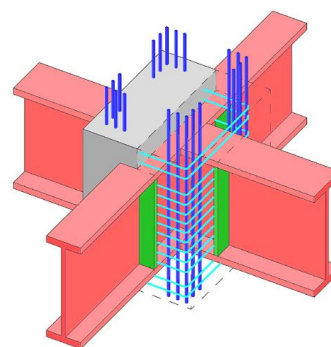
【技術開発の趣旨】

本技術は、工期および施工費用の制約条件の下、設計で要求される構造性能の確保が可能なRC造柱、S造梁からなる混合構造建築物の実現を意図して開発されたものである。

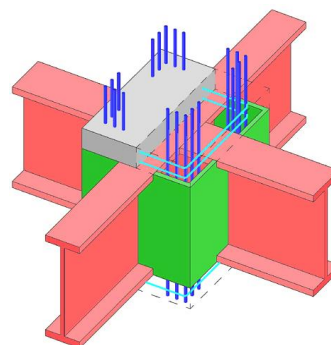
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「PSMIX 構法 設計施工指針」に従って設計・施工された柱RC梁S接合部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない。また同指針に従い求めた終局せん断耐力以上または終局支圧耐力以上の耐力を有する。

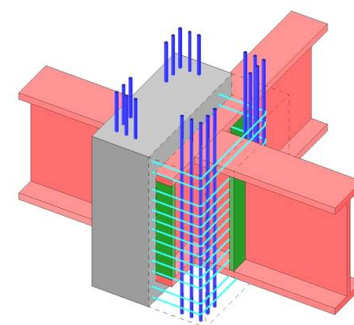


帯筋形式



ふさぎ板形式

十字形柱梁接合部



外周架構の帯筋形式形柱梁接合部

【本技術の問合せ先】

株式会社ピーエス三菱 担当者：技術本部 渡邊一弘
〒104-8215 東京都中央区晴海 2-5-24 晴海センタービル

E-mail：watanabe-k@psmic.co.jp
TEL：03-6385-8053 FAX：03-3536-6953